

**2016年8月改訂（第9版、記載整備）
*2013年7月改訂

日本標準商品分類番号

871319

補酵素型ビタミンB₂点眼剤

FAD点眼液0.05%「サンテン」

FAD ophthalmic solution 0.05%「SANTEN」

**フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム点眼液

承認番号	21800AMX10010000
薬価収載	2006年6月
販売開始	1970年10月
再評価結果	1979年2月

Santen

貯法：遮光もしくは暗所、気密容器、室温保存
使用期限：外箱及びラベルに記載（3年）

**〔組成・性状〕

販売名	FAD点眼液0.05%「サンテン」
有効成分	フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム
含量(1 mL中)	0.53mg (フラビンアデニンジヌクレオチドとして0.5mg)
添加物	エデト酸ナトリウム水和物、クロロブタノール、酢酸ナトリウム水和物、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸メチル、ホウ酸、pH調節剤
pH	4.5~6.0
浸透圧比	約1
性状	黄色~だいたい黄色澄明、無菌水性点眼剤

〔効能・効果〕

下記疾患のうち、ビタミンB₂の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合。

角膜炎、眼瞼炎

〔用法・用量〕

通常、1回1~2滴を1日3~6回点眼する。

なお、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

種類	頻度	頻度不明
過敏症		眼瞼発赤・腫脹
眼		刺激感

2. 適用上の注意

1) 投与経路：点眼用にのみ使用すること。

2) 投与時：薬液汚染防止のため、点眼のとき、容器の先端が直接目に触れないように注意するよう指導すること。

〔薬効薬理〕

角膜の酸素消費速度¹⁾

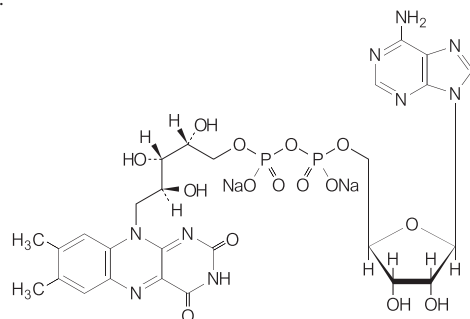
ウサギ摘出全層角膜の酸素消費速度に及ぼすフラビンアデニンジヌクレオチドの影響を検討した。リン酸塩系培養液(pH7.4、10⁻⁴~10⁻³M)及び炭酸水素ナトリウム系培養液(pH7.4、10⁻³M)において、フラビンアデニンジヌクレオチド添加30分後の酸素消費速度は増加した。(in vitro)

〔有効成分に関する理化学的知見〕

一般名：フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム
(Flavin Adenine Dinucleotide Sodium)

化学名：Disodium adenosine 5'-[(2R,3S,4S)-5-(7,8-dimethyl-2,4-dioxo-3,4-dihydrobenzo[g]pteridin-10(2H)-yl)-2,3,4-trihydroxypentyl diphosphate]

構造式：



分子式：C₂₇H₃₁N₉Na₂O₁₅P₂

分子量：829.51

性状：本品は橙黄色~淡黄褐色の粉末で、においはないか、又は僅かに特異なにおいがあり、味は僅かに苦い。本品は水に溶けやすく、メタノール、エタノール(95)、エチレングリコール又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品は吸湿性である。本品は光によって分解する。

〔取扱い上の注意〕

<安定性試験>

最終包装製品を用いた長期保存試験(室温、3年間)の結果、外観、含量、pH及び浸透圧比等は規格の範囲内であり、本剤は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。

〔包装〕

プラスチック点眼容器 5mL×10本

〔主要文献及び文献請求先〕

<主要文献>

1) 山内秀泰他：日本眼科学会雑誌 75, 244(1971)

[51497]

<文献請求先・製品に関するお問い合わせ先>

参天製薬株式会社 医薬事業部 医薬情報室
〒533-8651(個別郵便番号) 大阪市東淀川区下新庄3-9-19
TEL 0120-921-839 06-6321-7056
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

製造販売元 **参天製薬株式会社**
* 大阪市北区大深町4-20